

## 2025年のスタートです

校長 河口尚志

あけましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2025年、乙巳(きのとみ、いっし)です。

乙(きのと)は、困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木を表しています。

巳(み)は、蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物として、信仰されてきました。

この2つの組み合わせである「乙巳」には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しているそうです。

日々の忙しい中でも、新しい考え方を取り入れ、大きな成長と変革を遂げていく、そんな年になるように努力していきたいものです。

さて、アメリカのある研究によると、「誰かのために時間を使うことで、忙しいと感じる気持ちが薄れるとともに時間に対する心の余裕が生まれる」とあります。この心の余裕が時間の感覚にも影響を与え、主観的な時間も引き伸ばしてくれるようです。

最強の時間管理法とは、人のために時間を使うことだそうです。

人の役に立ったという実感が自己効力感を育てるからでしょう。このことで心の健康や知性も高め、さらなるモチベーションが高まるのだと考えられます。

研究論文には「1日のどこかで他人のために時間を使うこと。ほんの5分でよい。」とあります。

1日に人々に与えられた時間は24時間です。大人にも子供にもみな平等です。

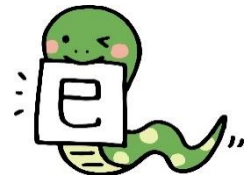
その5分間をどうやって使うのかを、今年はより考えてみたいと思います。

子供たちが学校生活の中で、友達やクラスのために何かを考え行動を起こしたり、家庭の中で家族のために何かを考え行動を起こしたりすること、大人はその後押しをしていければと思います。

もちろん我々大人も、子供たちや組織、家族のために何かを考え、実践することが大切です。

まさに「情けは人のためならず」です。

そんなことを考える新年にしていければと思います。



### ☆サケの赤ちゃん誕生！

6年12月6日に臨川小学校にやってきたサケの卵から、稚魚が生まれ、順調に育っています。おなかの栄養の袋(さいのう)が小さくなり、ようやくエサを食べ始めるところです。

色も銀色になり、サケらしくなってきました。放流までの短い間ですが、子供たちは成長の様子を見守っています。ホンモノ体験の1つです。



